

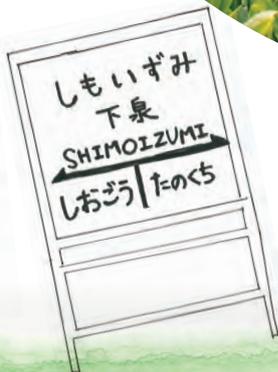
8代目緑のふるさと協カ隊
丸野 宏夏の

まるごと 絵日記①



profile ☺

- ・鹿児島県知覧町出身
- ・蚕5頭飼ってます
- ・同じく育てている方、ぜひ
お知り合いになりたいです!



皆さんはじめまして！川根本町第8代目の緑のふるさと協力隊として、九州の鹿児島県からやって来ました、丸野宏夏(まるのひろか)です。覚えにくい名前なので、お気軽に「丸ちゃん」と呼んでください。

私の出身地は鹿児島県知覧町。よく「戦時中に特攻隊が飛び立った場所だね」と言われますが、川根本町と同じ、お茶が有名な町でもありません。協力隊としてこの町に派遣されることが決まった時、とてもご縁を感じました。

実際には暮らしてみると、あらびっくり。気候も、お茶も、人が優しいところも、知覧とそっくりです。そのせいか、ホームシックはまだ感じていません。でも、おでんの「はんぺん」が黒かったり、「皿うどん」を食べる人はあまりいないことを知ったり、しだれ桜がともきれいだったり。同じ国内でもちよっとした異文化を感じています。

私は今、農林業センターで農作業を経験させてもらったり、イベントに参加させていただいたりしています。こんなに長く土に触れることがな

かったので、とても新鮮な気持ちで作業をしています。茶業にも携わること、ここに住む人たちは、本当にお茶と共に暮らすのが当たり前なんだな、ということを感じました。実は、お茶の産地から来たといっても、今まで茶業に関わることはあまりありませんでした。だから、ここにきて、お茶に対する皆さんの意欲にびっくりして、私も一年間、お茶のことをたくさん極めたいな、と思いました。

農林業センターでの会話の中では、方言と標準語がよく話題になります。方言って、当たり前に使っているものだから、それが方言で標準語か、というのは、とても分かりにくいですね。私は、方言はとても大事な、いつまでも伝えていってほしい言葉だと思っています。この方言は、優しい感じがしてとても大好きです。川根本町の方言も、一年のうちにはいくつか使えるようになりたいな、と思っています。一年間、いろいろな人と出会い、たくさんさんの体験をして、たくさん学びたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

